



撮影：横山芳治

津山の人・物・技術  
など、明日誰かに自慢  
したくなる津山のいい  
ところを紹介します

38  
つやまじまん

ええとこ  
いっぱい

津山 **自慢**

## 全日本テニス選手権女子シングルス優勝 加治 遥さん (桑上出身)

6歳からテニスを始め、小学6年生から全国大会に出場。大学在学中の全日本学生室内テニス選手権大会優勝をはじめ、さまざまな大会で好成績を収める。大学卒業後プロへ転向し、現在、国内外で年間30以上の大会に出場するなど活躍中。株式会社島津製作所所属。29歳。

### テニスとの出会いから全国へ

6歳の時、3歳上の兄が通う市内のテニススクールに付いて行ったのが、テニスとの出会いでした。もともと運動が好きで、すぐにスクールに入り夢中になりました。とにかく負けたくないという気持ちで練習に打ち込み、小学6年生で全国大会に出場できるようになりました。全国大会は強い選手ばかりで、いろいろな人から刺激を受けました。プロを意識し始めたのはこの頃だったと思います。

中学校卒業後は、元プロテニスプレイヤーの伊達公子さんや、浅越しのぶさんなどが卒業したテニスの強豪校、園田学園高等学校(兵庫県)から、園田学園女子大学に進学しました。その後、平成29年から、島津製作所でプロ選手として活動を始めました。

### 悲願の初優勝

今回優勝した全日本テニス選手権(令和5年11月)には、大学1年生の時から挑戦していて、過去10大会の成績は、シングルスベスト4が最高でした。大学時代からの長い道のりだったので、初優勝の懸かった決勝戦は特に大きな緊張感がありました。試合中はしっかりと走ることを意識し、持ち

味のねばり強さを活かしたプレーができたことが、結果につながったのだと思います。

令和5年は、全日本テニス選手権の優勝や、グランドスラム(世界4大会)の1つの全米オープン予選出場など、刺激にあふれた1年でした。大会のレベルが上がるほど、ショットの精度やコートを走り回る持久力などで高いレベルが求められます。1ポイントの重みが大きいため、無駄なミスをしたくないよう、心技体、隙のない選手を目指していきたいです。

### そして世界へ

今後の目標は、グランドスラムの予選出場を定着させ、本戦で活躍することです。現在、世界でのランキングは200位台ですが、国際大会などを勝ち抜き、100位台に入れるよう練習に励んでいきたいです。これからも失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦していきます。



全米オープン予選1回戦の勝利後、コートサイドで



卓球の岡山リベッツの試合を、初めて会場で観戦しました。手に汗握るラリー、声援や拍手の一体感など、会場ならではの雰囲気を感じることができました。卓球、バスケットボールなど、プロチームの試合が津山で行われることが増えています。みんなで応援し、地元チームの勝利を後押ししましょう！

西日本最大級で県北唯一の冬季限定屋外アイススケート場「アイスランド津山」。昨シーズン、小学生ぶりに滑りに行って、懐かしい氷の感触にわくわくしたのを覚えています。祝日の翌日以外の火曜日から金曜日は、午後8時まで開いているので、この冬も仕事帰りなど、気軽に滑りに行こうと思います。

今月は表紙を担当。ノルディックウォークは、2本のポールを使ったウォーキングです。膝や腰への負担が少なく、全身の約90%の筋肉を使うため、通常の歩行より消費カロリーが高いそうです。爽快地歩く参加者を撮るため、公園を走り回りました。12月ですが、体の温まる気持ちの良い取材でした。